
「乳がん術後の外来リハビリテーションを必要とした患者の術後早期の上肢機能」に関するお知らせ

このたび、当院でリハビリテーションを行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、【埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2021年1月1日～2025年10月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターにて乳がんの手術を受けた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

乳がん術後に外来リハビリテーションをした患者さんとそうでない患者さんの、肩の機能を比較することです。

3. 研究期間

病院長の許可後～2028年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1か月程度。開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

患者さんの情報：年齢、性別、現病歴、既往歴、発症前の日常生活レベル、入院日、手術からリハビリテーション初回介入までの日数、入院日数、リンパ節郭清レベル、処方病日、開始病日、実施日数（入院日数からの割合）、終了病日、退院病日。肩関節機能 - 関節可動域（Range of motion:ROM）：屈曲角度、外転角度。上肢機能障害の有無 - 術測と非術測の角度の差が $>25^{\circ}$ 。疼痛 - NRS (Numerical Rating Scale)

※この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学国際医療センター】において、研究責任者である大木原徹也が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

乳がんと診断された患者さんのリハビリテーション記録、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

※当院のみで実施します

研究責任者

所属：リハビリテーション部

（役職）係長

氏名：大木原 徹也

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学国際医療センター】 病院長 佐伯俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション部 大木原徹也

〒350-1298 埼玉県日高市大字山根 1397 - 1

042-984-4367

○研究課題名：乳がん術後の外来リハビリテーションを必要とした患者の術後早期の上肢機能

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション部 大木原徹也